



GRIPS

政策研究大学院大学
NATIONAL GRADUATE INSTITUTE
FOR POLICY STUDIES

Gateway to Global Leadership

国立大学法人 政策研究大学院大学 (GRIPS)

大学概要 【2025年度関東甲信越地区国立大学法人等職員採用説明会】

GRIPS

*Gateway to
Global Leadership*



【2025年度関東甲信越地区国立大学法人等職員採用説明会】

- ① 大学概要についての説明 (約20分)
- ② 質問タイム (約20分)

ご質問はチャットにご入力をお願いします。
前半の説明の間でもチャットにご質問をご入力いただけます。

政策研究大学院大学（GRIPS）のミッション

政策及び政策の革新にかかわる研究と教育を通して、
我が国及び世界の民主的統治の発展と高度化に貢献する。

学際的な政策研究の実践
世界的な政策研究・教育拠点の形成
国内外の政策リーダーの養成



○アジアトップクラスの政策研究教育拠点として、政治・経済・地域研究等の一流の教授陣が内外の教育研究機関等と連携しつつ、様々な政策課題に対応する学際的な研究教育を実施
(経済、科学技術イノベーション、エネルギー、インフラ、安全保障、環境、社会保障等、幅広い政策分野を網羅)

○英米大学での指導内容に日本・東アジアの経験・実践を加味した独自の教育を展開

○世界のミッドキャリアの行政官(幹部候補生)等が学生として参集
 (3分の2が留学生、3分の1が日本人)

(2025年5月1日現在)

	日本人	留学生	合計
修士	131	176	307
博士	33	67	100
合計	164	243	407

○125カ国6,300人以上の同窓生ネットワーク
 (主にパブリックセクターの幹部として政策形成を主導)

○エグゼクティブトレーニングのアジア拠点の形成

年間約10か国、毎年約500名が受講。

2004年度以降、幹部行政官を中心に5,000名以上が受講。

例えば、ベトナム副大臣研修、タイ副知事研修、オーストラリア国立大学(ANU)国家安全保障カレッジ(NSC)研修

埼玉大学大学院政策科学研究科（GSPS）

[1973]

埼玉大学行動科学情報解析センター設置

『科学技術と公共政策』をテーマに15本の講義（日本の科学技術政策、エネルギー政策と技術、科学技術と国際関係など）を講義。当時としては先駆的な情報処理教育を実施。【センター長：吉村融】

[1977]

埼玉大学大学院政策科学研究科設立

＜準備委員会委員＞野口悠紀夫、八田達夫、山本吉宣など。日本初の本格的な政策科学研究の大学院。問題解決指向型の学際的研究教育を行うため、学部を持たない独立研究科として設置。【研究科長：吉村融】

[1984]

ASEAN若手行政官向け国際プログラム開設

日本の経験を素材とした政策研究を通して、日本に対する諸外国の理解を深めるなどを目的としたプログラムを開設。

[1991]

海外協力に関わる専門家を育成する国際プログラム開設

開発援助の先進国であった西欧諸国モデルにとらわれることなく、独自の開発理論・開発政策を目指すプログラムを開設。

[1993]

IMFプログラム開始

旧中央計画経済諸国の若手行政官を対象に、市場経済下での実践的知識の取得を目指すプログラムを開設。

[1994]

文科省 政策研究機構に関する調査研究会報告

新たな段階に入ろうとする日本で適切な政策を打ち出すと共に、日本の政策に対する世界の関心に応えるため、政策研究と人材養成のセンターオブエクセレンスとなる独立の大学院大学の創設を提言。

[1997]

政策研究大学院大学（GRIPS）開学

＜創設準備委員会委員＞猪口邦子、猪瀬博、大崎仁、加藤寛（座長）、佐藤誠三郎、立石信雄、西尾勝、西野文雄、野口悠紀夫、ジョージ・R・パッカード、山田勝久など 【学長：吉村融】

博士課程

<博士課程プログラム>

- STI** 科学技術イノベーション政策プログラム
- DM** 防災学プログラム
- 政策プロ** 政策プロフェSSIONALプログラム

<修士課程・博士課程一貫プログラム>

- G-cube** GRIPS Global Governance Program
- PA** Policy Analysis Program

修士課程

<英語で行われるプログラム>

- YLP** Young Leaders Program
- MP1** One-year Master's Program of Public Policy
- MP2** Two-year Master's Program of Public Policy
- MEP** Macroeconomic Policy Program
- PF** Public Finance Program
- EPP** Economics, Planning and Public Policy Program
- DMP** Disaster Management Policy Program
- MSP** Maritime Safety and Security Policy Program
- AIP** ASEAN Initiatives Program

<日本語で行われるプログラム>

- 公共政策プログラム
 - ▶ インフラ政策コース
 - ▶ 地域政策コース
 - ▶ 医療政策コース
 - ▶ 農業政策コース
 - ▶ 防災・危機管理コース
 - ▶ 科学技術イノベーションコース
 - ▶ 国際協力コース
 - ▶ まちづくり政策コース
 - ▶ 地域創造・金融コース
 - ▶ 文化産業・地域創造コース
 - ▶ 総合政策コース
- まちづくりプログラム
- 科学技術イノベーション政策プログラム
- 戦略研究プログラム
- 国際的指導力育成プログラム

学位プログラムの修了生ネットワーク

○ **125の国と地域に広がる6,300名以上の修了生**
(約8割がパブリックセクターからの派遣)

○ 修了生は、帰国後も、その**ほとんどが公務員・パブリックセクターの幹部職員**として勤務し、自国の行政・財界関係者とのネットワークを構築している

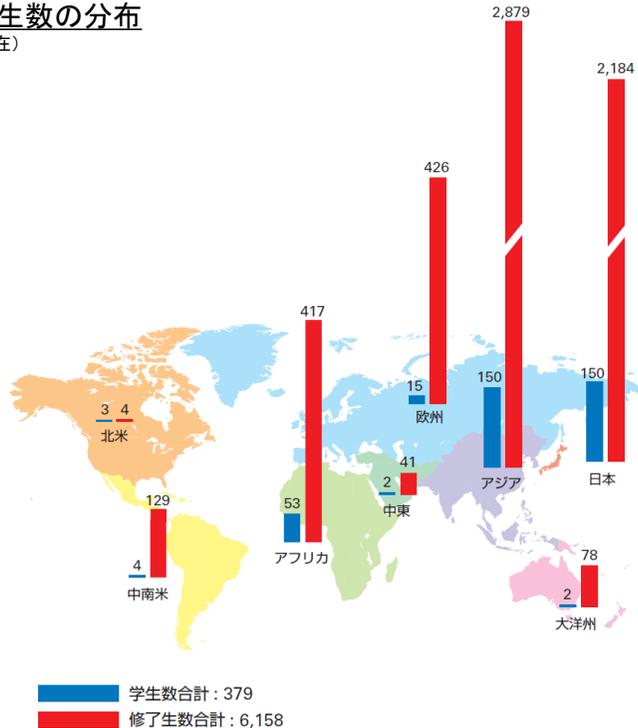
○ **知日家・親日家として日本に関係した業務に就くなどして、日本のとのネットワークにも貢献している。**

例えば、**ベトナム中央銀行総裁、フィリピン中央銀行総裁、カザフスタン中央銀行副総裁、マレーシアエネルギー・グリーン技術・水資源省事務局長**など各国政府等で要職を担うとともに、自国省庁内では、局長・部長級の役職に就くなどしている。

○ また、近年では、**エチオピア首相府インフラ等特命担当副大臣、パキスタン情報局副課長、タイ中央銀行上級分析官**など将来の幹部候補生が在校生として学んだ例もある。

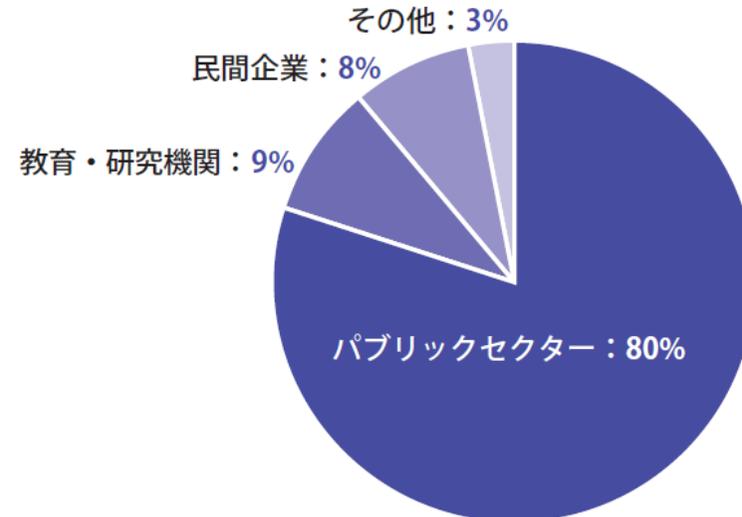
各国の修了生数の分布

(2024年5月1日現在)



学生派遣元機関に占めるパブリックセクターの割合

学生の派遣元 (2023年度修了生)



○増大するアジア・アフリカを中心に諸外国における公的部門の人材育成ニーズに対応するため、研修事業の飛躍的な発展を図ることを目的とし、2013年4月にグローバルリーダー育成センターを開設

- ・毎年約10か国、約500名が受講。平成16年度以降、幹部行政官を中心に約6,300名以上が受講。
- ・タイ、ベトナムを中心に、新たな行政官ネットワークを構築。

(主な対象国と対象者の例)

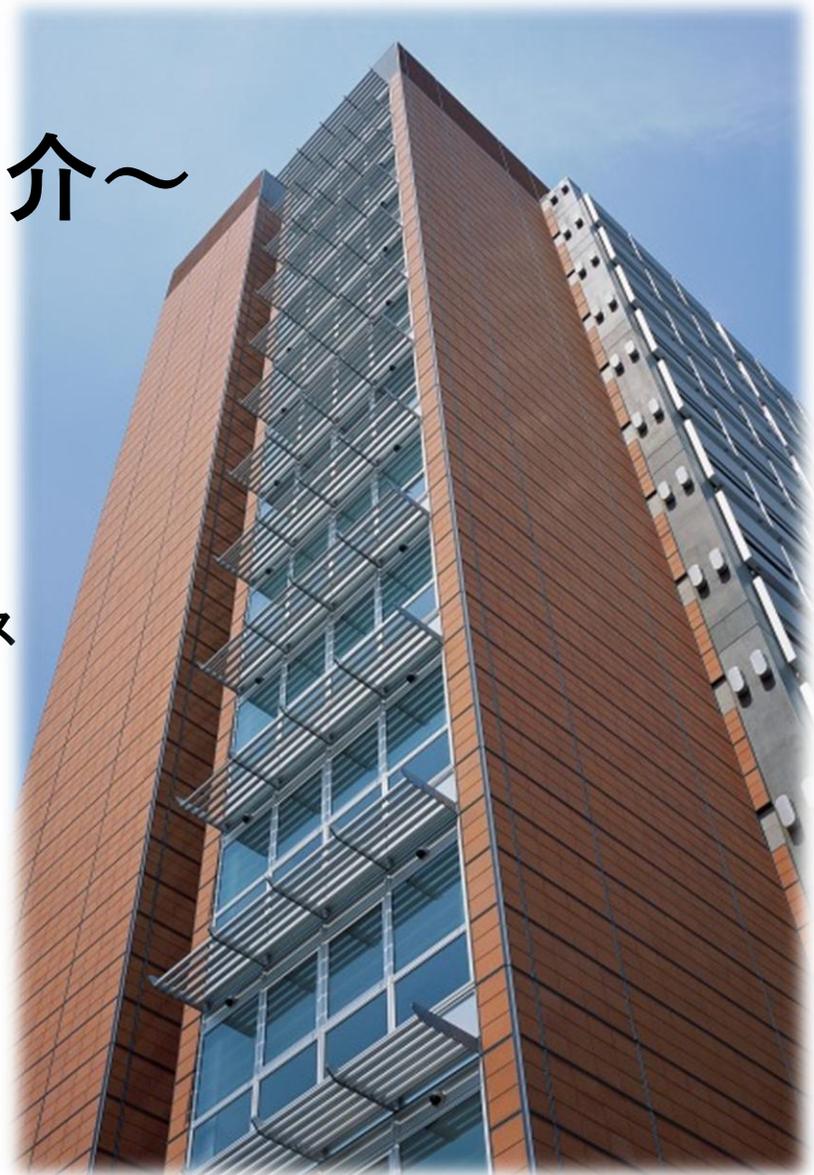
ベトナム	: 副大臣級、局次長級幹部、地方幹部
タイ	: 局次長クラス公務員、若手幹部候補生、法制委員会幹部及び職員
インドネシア	: 国家開発計画庁職員、財政・開発監督庁職員
ラオス	: 副大臣級
フィリピン	: 次官級、国会事務局幹部
バングラデシュ	: 政府幹部
マレーシア	: 政府行政官・大学幹部
シンガポール	: 若手官僚
オーストラリア	: 政府幹部
各国	: Japan-IMF Macroeconomic Seminar for Asia (JIMS) (アジア太平洋地域の財務省・中央銀行職員向け研修)



IMFの支援によるマクロ経済セミナー(JIMS)の様子

～私たちの職場紹介～

- ◆ 写真で見るGRIPS
- ◆ 大学運営局・教職員数
- ◆ あるGRIPS職員の1日
- ◆ フレックス制度を活用すると
- ◆ 在宅勤務でワークライフバランス



GRIPS外観



授業風景



学位記授与式



屋内運動場



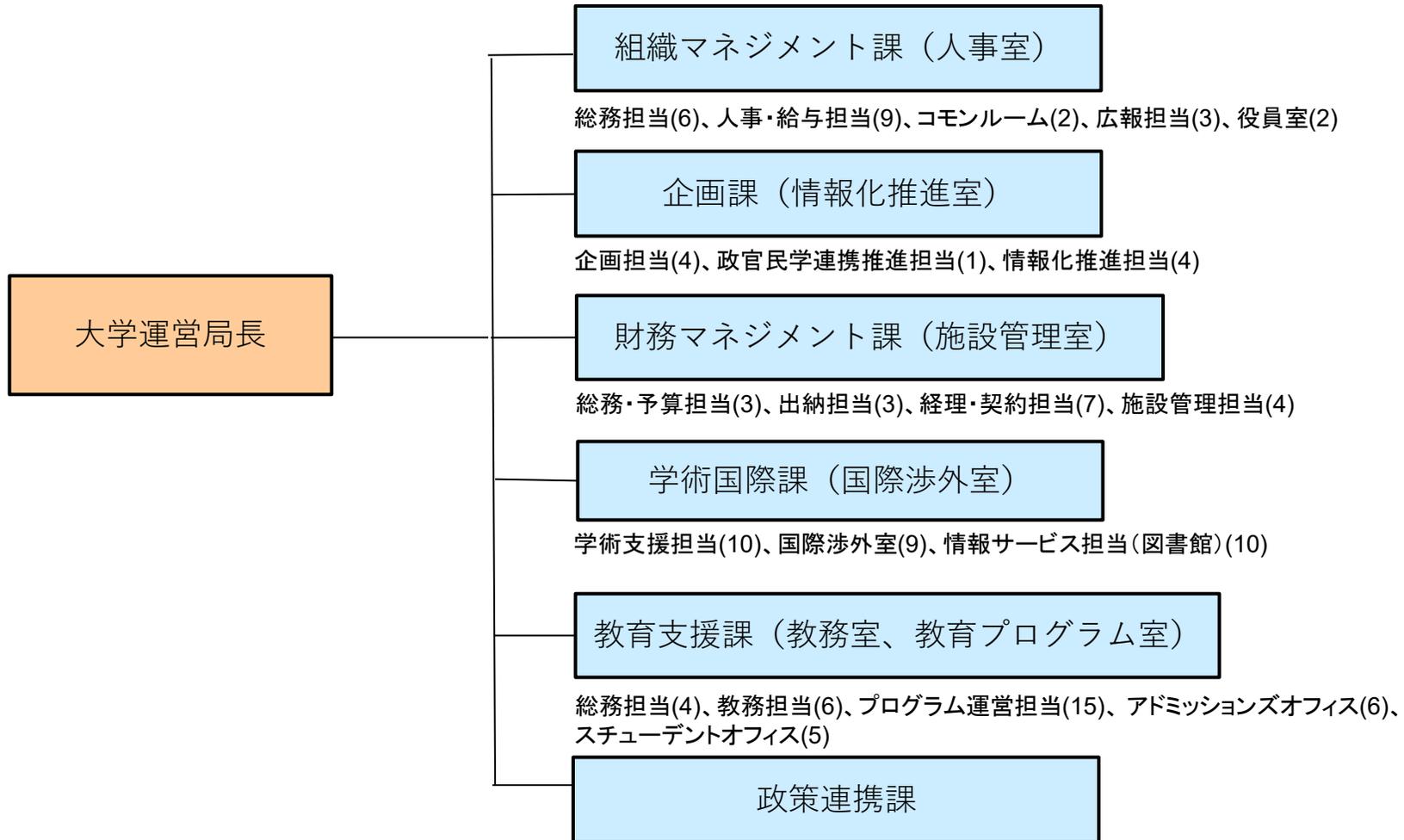
図書館



職員仕事風景



想海樓ホール



教職員数 (2025年5月1日現在)

学長	副学長	教授	准教授	講師	助教	非常勤教員	小計	職員	合計
1	5	56	11	2	2	143	219	135	354

※外国人教員数(非常勤教員除く) 76名中16名

※教員の海外における学位の取得状況(非常勤教員除く) 76名中39名

※教員女性数(非常勤教員除く)76名中13名(17.1%)

※職員女性比率 135名中106名(78.5%)

GRIPS職員の一日の流れとしては以下のような例があります。大学の規模が小さいため、他の部署の職員とも関わる機会が多くあります。2～3年単位でジョブローテーションを行っているため、様々な部署の業務を担当することができます。

Aさん（教育支援課勤務）【事務】

午前 8:00	出勤、メール・Teamsチェック
午前 9:00	ワークフロー決裁の確認
午前 10:00	課内ミーティング 書類作成 等
午後 1:00	オンライン研修受講
午後 3:00	窓口に来た留学生への対応 デスクワーク 等
午後 5:00	退勤

教育支援課では、学生のサポートや授業に関する業務を行っています。GRIPSの中で最も大きな課です。

Bさん（情報化推進室勤務）【情報】

午前 9:45	出勤・、メールTeams チェック
午前 11:00	運用保守会社との会議
午後 2:00	SOCからの緊急通報 対応、ユーザーヒアリン グ実施。
午後 3:00	会議資料作成、オンラ イン会議出席 等
午後 7:00	退勤

情報化推進室では、端末・ネットワークの監視や外部からの通報・情報提供に対する初期対応等を行います。特別なトラブルがなければ定時内退勤が可能です。

GRIPSでは、フレックスタイム制を導入しています。フレックスタイム制は、必ず勤務しなければならない時間(コアタイム:午前10時～午後3時)があり、それ以外は、一定の定められた時間帯の範囲内で、各自が、始業及び終業の時刻を決定することができる制度です。

Aさんの月曜日

午前 7:30	保育園送迎
午前 7:50	出勤前の自習時間
午前 10:00	出勤
午前 10:30	会議資料の作成
午後 3:00	スタッフミーティング
午後 7:00	退勤

朝自由に動けますので、
保育園の送迎もできます。

Aさんの金曜日

午前 7:30	早朝出勤
午前 9:30	上司とのミーティング
午前 10:00	副学長への提案
午後 1:30	デスクワーク
午後 4:30	退勤

集中して仕事に取り組みたいときは、早朝に
出勤します。そんな日はどうしても疲れてし
まうので、早めに退社。なるべく自分の時間
を作るように心がけています。

- 生活の中で大半を占めることとなる勤務時間を自分でタイムマネジメントできます。
- 1週間単位又は1ヶ月単位で勤務時間がフラットになるように調整します。

例えば、

- 月曜日、火曜日と超勤が発生したら、水曜日は早く帰る。
 - 金曜日に早く帰るため、その分の仕事を週の前半で超勤して終わらせる。
 - 月の後半に業務が集中するような月は、前半は、できる準備をしつつ、早めに帰る。
- このように、メリハリのきいた勤務が可能となります。

GRIPSでは在宅勤務も可能です。それぞれのワークライフバランスに合わせて業務を行うことができます。一人で集中して作業をしたい日やオンライン研修に参加する日などで在宅勤務を行っています。

Bさん

午前 7:00	起床、子どもと朝ご飯
午前 8:15	テレワーク開始
午後 5:00	テレワーク終了
午後 5:30	スーパーで買い物
午後 6:30	夫婦で夕食作り
午後 7:30	夕食
午後 10:00	就寝

Cさん

午前 7:30	起床
午前 8:30	テレワーク開始
午後 5:15	テレワーク終了
午後 6:00	スポーツジムへ
午後 8:00	夕食

書類のPDF化が進んでいるため、
テレワークもスムーズに行うことが
できます。

応募方法

①履歴書②エントリーシート（③職歴のある方は職務経歴書）をメールでご提出ください

採用情報・応募書類掲載ページ：[採用情報 | 政策研究大学院大学\(GRIPS\)](#)

メールアドレス：personnel@grips.ac.jp

採用予定数

事務 3名、電子・情報 1名

提出書類受付期間

7月18日（金）～7月31日（木）必着

本学ホームページ内  をクリック




政策研究大学院大学
NATIONAL GRADUATE INSTITUTE
FOR POLICY STUDIES

サイトマップ | Intranet | 図書館 | 採用情報 | アクセス

大学案内 | ニュース・イベント | 入試案内 | 教育活動 | 研修事業 | 研究活動 | 同窓会

2025年4月入学
募集要項公開中

出願受付期間はプログラムごとに異なります。
詳細は募集要項のページをご覧ください。

イベント・セミナー [最新のイベント一覧](#)

- 2024.07.01 (月) GRIPSフォーラム『台湾の運営とレジリエンスの強化：アドボカシーと市民参加を通じて』
- 2024.07.08 (月) GRIPSフォーラム『地球の挑戦とスポーツ・ビジネス・公的部門の相互関係』を開催しました
- 2024.07.13 (土) 【GHIPPイベント】スペシャル・ダイアログ「ヘルスと気候変動：太平洋諸島の課題と教訓から～日米にできることは？」

DATA SCIENCE
at GRIPS